令和7年度

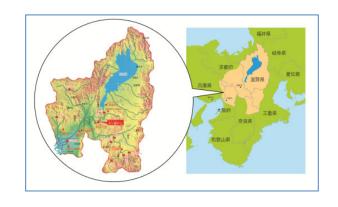
事 業 概 要



国土交通省近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所

令和7年度 淀川ダム統合管理事務所 事業概要

淀川ダム統合管理事務所では、淀川水系の流水管理(ダム群の統合管理)、淀川水系の洪水予報、天ケ瀬ダムの管理、近畿地方のレーダ雨量計の運用管理などを行っています。





《諸元》

• ダム形式 : ドーム型アーチ式

• ダムの高さ:73.0 m

• ダムの長さ(堤頂長): 254 m

年平均降水量(天ケ瀬ダム流域):1,588 mm

• **湛水面積** : 1,88 km²

• **総貯水容量** : 2,628万 m³ (甲子園球場約50杯分)

・ダム湖名 : 鳳凰湖

※年平均降水量は、至近10ヵ年平均

天ケ瀬ダム:国土交通省

完成年:昭和39年度[61年経過]

《目的》

●洪水調節

ダム地点計画高水流量: 2,080 ㎡/sダム最大放流量: 1,140 ㎡/s淀川ピーク時放流量: 250 ㎡/s

●水道用水

最大取水量 : 0.9 m³/s

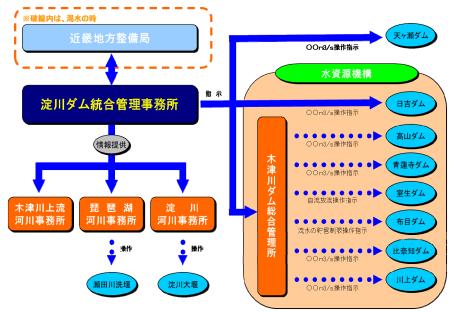
●水力発電

天ヶ瀬発電所 最大使用水量 :186.14 m³/s

最大出力 : 92,000 kW 喜撰山発電所 最大使用水量 : 248 m³/s (純揚水式) 最大出力 : 466,000 kW

■ 淀川水系の流水管理(ダム群の統合管理)

淀川水系の8ダム(天ケ瀬、日吉、高山、室生、青蓮寺、比奈知、布目、川上)と瀬田川洗堰、淀川大堰を連携させ、淀川水系全体の流水管理を行っています。洪水時には高水管理として、収集した河川情報や気象情報をもとに洪水予測を行って、各ダム等の操作方法を検討し、指示や情報提供を行います。また、平常時や渇水時には低水管理として、効率的で効果的な淀川水系の水運用を行うため、日々変動する流況を確認し、予測を行い、各ダムや堰からの補給量を決定し、指示や情報提供を行っています。



ダムの放流能力増強のため、左岸側にトンネル放水路を整備しました。

令和5年4月1日(土)より管理開始

■ トンネル式放流設備の建設(放流能力の増強)



■ 天ケ瀬ダム下流に対する効果

- 下流河道の整備と併せて、天ケ瀬ダムの放流 能力を増強。
- これにより、より大きな洪水に対しても洪水調節 容量を確保することが可能。
- 天ヶ瀬ダムの後期放流を早期に完了させることができ、次の洪水に素早く備えることが可能。

■ 琵琶湖周辺に対する効果

- 天ケ瀬ダムの放流能力の増強により瀬田川洗堰からの放流量が増加。
- これにより、琵琶湖の後期放流を早期に完了させることで、琵琶湖周辺の浸水被害を軽減。



■ 事業の目的:利水(京都府の水道用水の確保)

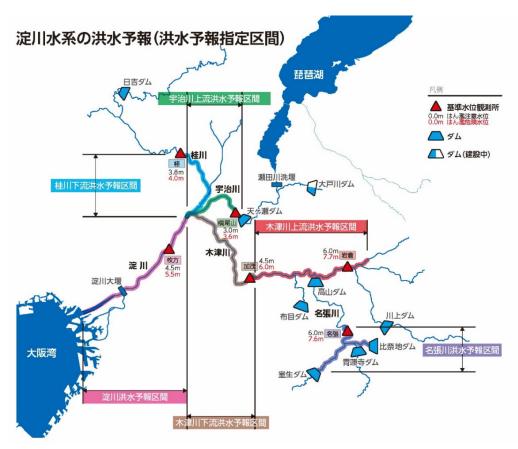
□天ケ瀬ダム再開発事業による貯水池運用の効率化により、洪水対策や発電に影響を与えることなく、より多くの水道用水を取水できるようになり、1日あたり51,840m³の水(約17万人分)を新たに安定的に供給することができます。

再開発運用前 再開発運用後 ▼洪水時最高水位(平常時最高貯水位) ▼洪水時最高水位(平常時最高貯水位) EL.78.5m EL.78.5m ▼洪水貯留準備水位 EL.72.0m ▼洪水貯留準備水位 EL.72.0m → 発電容量 発電最低水位 発電容量 発電最低水位 ▼EL.68.6m 380万m³ ▼EL.68.6m 380万m³ 貯水容量 水道容量 k道容量 60万m³ 最低水位 最低水位 ▼EL.58.0m ▼EL.58.0m <mark>コン</mark>ジットゲート <mark>コンジ</mark>ットゲート 堆砂容量等 堆砂容量 **○ ▼□ ▼ EL.4**2.7m <u>■ ▼ EL.42.</u>7m 628万m³ 628万m³ 導流部 基礎岩盤:EL.9.0m <mark>(φ10.3m</mark>)EL.41.2m 基礎岩盤:EL.9.0m

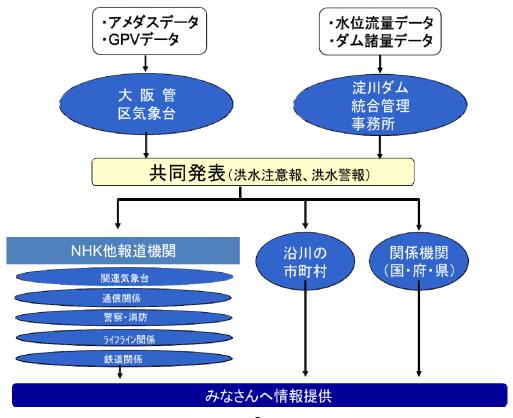
■ 淀川水系の洪水予報

収集した河川情報や気象台から提供される気象予報をもとに洪水の予測を行い、河川水位の見込みや氾濫の危険性について一般の方に情報提供する洪水予報を実施しています。

淀川水系の6区間(淀川、宇治川、桂川下流、木津川下流、木津川上流、名張川)の予報について、大阪管区気象台と連携し、氾濫注意情報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報、氾濫発生情報などを予測される水位レベルなどに応じて発表しています。発表内容は、行政機関や報道機関などを通じ、また、インターネットや携帯電話サイトにより一般市民へ情報提供しています。



情報収集と伝達の流れ



■ 天ケ瀬ダムの管理

淀川水系のダムのうち本川である宇治川で唯一のダムであり、水系内で最も古い多目的ダムである天ケ瀬ダムの管理を行っています。

主な管理内容は、ダム堤体や機械・電気・通信等各設備の点検、整備や補修、貯水池の巡視、ゲートの操作、放流時の下流警報巡視、堆砂状況調査、水質等の環境調査などです。

令和7年度はこれらの管理業務を確実に実施するとともに堆積土砂の撤去、右岸減勢工の恒久対策、右岸法面対策工事、低周波音調査等を実施します。

ダム管理









右岸減勢工基盤整備

右岸減勢工導流壁の補修・補強を行い、宇治市かわまちづくり事業の基盤整備を行います。



R7.4撮影

宇治市かわまちづくり事業 イメージパース



堆砂状況

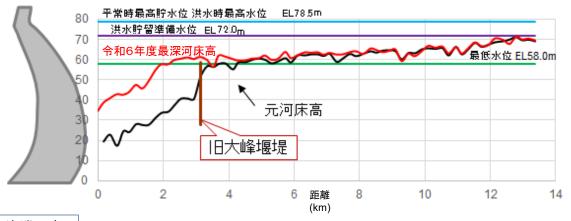
- ■経過年数 60年(令和6年度末現在(昭和39年(西暦1964年)完成))
- ■堆砂容量設定の年数 100年
 ■経過率 60%(60年/100年)
- ■有効貯水容量 20,000千m3
- ■洪水調節容量 20,000千m3
- ■堆砂容量 6,000千m3
- 堆砂率 約87%(全体堆砂量約5,244千m3/計画堆砂量6,000千m3)
- ■洪水調節容量内堆砂量 約5.5%

(有効貯水容量内堆砂量約1,100千m3/有効貯水容量20,000千m3)

堆砂量の変遷

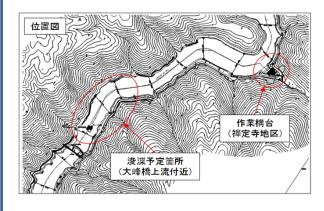


最深河床高変化図



浚渫工事

堆砂を除去するための、浚渫工事を行います。

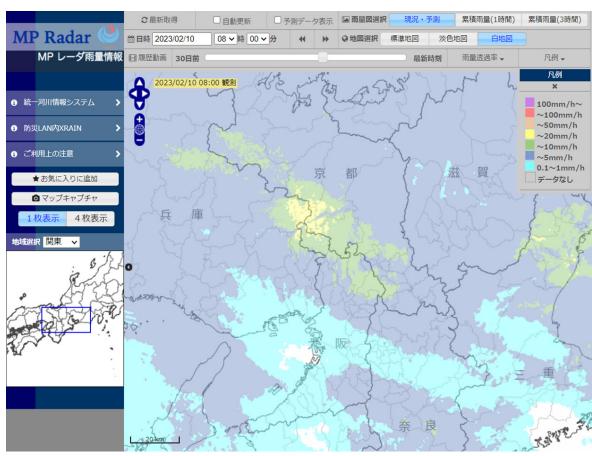




■ 近畿地方のレーダ雨量計の運用管理

水管理や防災システムの高度化を図るため、降雨状況を面的に捉えるレーダ雨量計システムを運用しており、近畿地方全体を広域的に観測するCバンドMPレーダ雨量計を2基(深山、城ヶ森山)及び京阪神圏を高精度、高頻度で観測するXバンドMPレーダ雨量計を4基(田口、六甲、葛城、鷲峰山)の計6基のレーダ雨量計の運用管理により、近畿全域において高精度・高分解能(250mメッシュ)・高頻度(配信間隔1分)で、地上雨量計の補正が必要なくほぼリアルタイムの配信が可能となっています。





■ その他

インフラツーリズムを推進します。

令和7年度も、宇治観光ボランティアガイドクラブ、宇治市観光協会等と協働しながら 天ケ瀬ダム見学会やツアーを実施し、天ケ瀬ダムを観光資源として活用した取り組みで地域の観光発展に寄与するとともに、天ケ瀬ダムの魅力を多くの方に知って頂けるよう引き 続き取り組んでいきます。

天ケ瀬ダム上流域では地元NPOと協働での水生生物調査を行います。

天ケ瀬ダム60周年記念イベント

■ 日時: 令和7年3月8日(土)

■場所: 天ケ瀬ダム■参加人数: 約100名

■ 内容: 記念絵画の除幕式、大学生による研究発表、観光放流





天ケ瀬ダムで大阪・関西万博を盛り上げる!

■夜間ライトアップ

期間:令和7年4月7日~21日の18:00~22:00

■大阪・関西万博記念天ケ瀬ダムカードの配布 令和7年4月7日(月)から配布開始中

天ケ瀬ダムハイブリッド運用

天ケ瀬ダムでは、カーボンニュートラルの観点から、発電事業者(関西電力(株))と連携し、治水機能を維持しつつ発電の増強及び地域振興として観光放流を行う、ハイブリッド運用の試行を開始しました







天ケ瀬ダムの上流には、旧志津川発 **電所の大峰堰堤があり、ダム周辺に** はたくさん人が訪れていました。 (写真は昭和29年4月頃)



天ケ瀬ダムができる前の風景



大峰堰堤のすぐ下流の所まで おとぎ電車がやってきていま した。

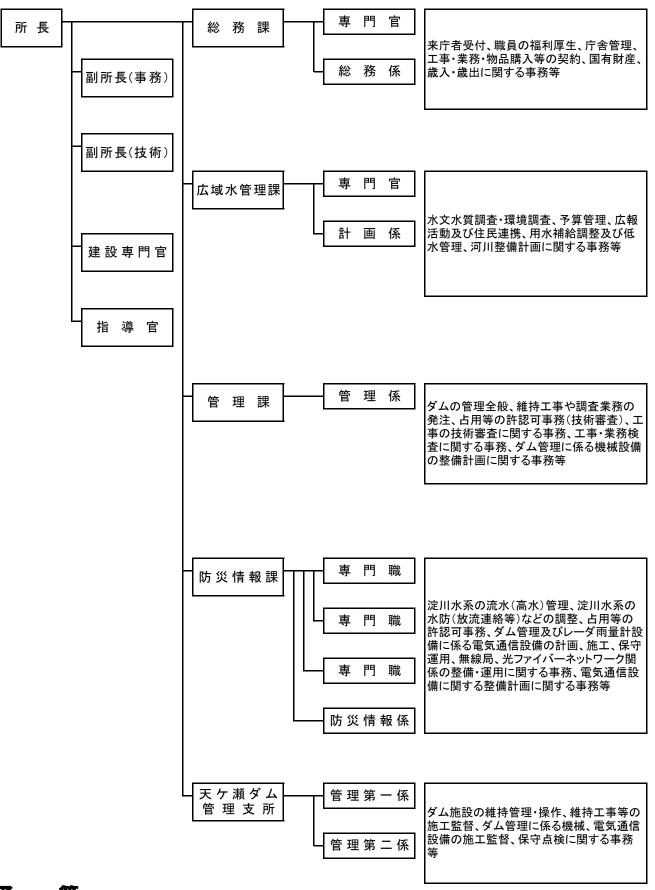
(写真は昭和30年11月頃)

大峰堰堤の上流の湛水区間で は、宇治川ライン遊覧船が運航 しており、湖面が観光に利用さ れていました。(写真は昭和35 年頃)



※これらの写真は、宇治市歴史資料館の所蔵のものです。

組織



予 算

堰堤維持費	R6当初	R6補正予算	R6合計
天ヶ瀬ダム	834,072	150,000	984,072
淀川ダム統管(受託含)	93,623	_	93,623

単位:千円 業務取扱費除く R7当初 879,222 99,032